

第1回長野市PFI事業等審査委員会 議事要旨	
開催日時	令和元年7月18日(木) 15:00~16:15
場 所	長野市役所第一庁舎 会議室141
出席者	<p>[委員] 寺内委員長、柄澤副委員長、北村委員、畑委員、三浦委員 倉石委員、酒井委員、清水委員</p> <p>[事務局(公共施設マネジメント推進課)] 望月公有財産活用局長、村上公共施設マネジメント推進課長、 関谷公共施設マネジメント推進課長補佐、小林公共施設マネジメント 推進課係長、渡辺公共施設マネジメント推進課係長</p> <p>[施設所管課] 小林観光振興課長、小林観光振興課長補佐、佐藤観光振興課主査</p>
議 事	<p>(1) 長野市PFI事業等審査委員会について</p> <p>(2) PFI事業等について</p> <p>(3) (仮称)山の駅飯綱高原について</p> <p>(4) その他</p>

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 委員長及び副委員長選出
- 6 正副委員長あいさつ
- 7 議 事
 - (1) 長野市PFI事業等審査委員会について
 - (2) PFI事業等について
 - (3) (仮称)山の駅飯綱高原について
 - (4) その他
- 8 今後の予定
- 9 閉 会

【開 会】

【委 嘱】

【市長あいさつ】

(代理：樋口副市長)

【委員自己紹介】

【正副委員長選出】

委員長：寺内委員

副委員長：柄澤委員

【正副委員長あいさつ】

〔寺内委員長、柄澤副委員長〕

議 事

(1) 長野市PFI事業等審査委員会について

〔資料1について事務局から説明〕

(2) PFI事業等について

〔資料2, 3について事務局から説明〕

委員長 資料2-1で長野県では3例であるが、資料2-4の事例を見ると、PFI事業等ということでDBOの事例も載っている。DBOも含めて長野県で3件なのか。

事務局 3件はPFIのみである。

委員長 DBO等を含めるとどのくらいになるのか。PFI事業等にはDBO等も含まれる。含めてどうなのか。

事務局 全国的には多くの事例があるが、手元に資料がなく詳細はわからないので後で報告します。

委員長 PFI事業等として、等としている意義はなにか。

事務局 PFI事業だけだと、PFI法に基づく事業のみであり、実績からわかるとおりハードルが高く、事業としてなかなか導入できない。しかしながら、民間のノウハウを活用するには、PFI以外のPPPとしてDBO方式などの類似手法も取り入れる必要があるため、PFI事業ではないDBO方式やDB+指定管理の手法の部分等を等としている。

委員長 DBOも取り入れたいということであればその状況も把握してください。

事務局 後で資料をお示しします。

委員 PFI事業等ということでいろいろな手法がある中で、どの手法にするのかを誰がどうやって判断するのか。

事務局 資料3の6ページにある基本構想、基本計画を市が策定し、優先的検討方針に基づき、どの手法を採用するかも市が決定します。採用された手法が、PFIやDBO等であれば、そこからこの委員会の審議がスタートします。

委員 審議するときに、なぜ、その手法にしたのかもご説明いただくとこれからの審議もスムーズになるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(3) (仮称) 山の駅飯綱高原について

〔資料4について施設所管課から説明〕

委員長 はじめてなのでお聞きしますが、なぜ、資料4の6ページが非公募なのか教えてください。

所管課 山の駅を整備するにあたって他の自治体の事例も参考にしました。整備に当たっては運営者の意向を、設計・施工に取り入れた方が、手戻りがない。一般的に市が整備して、後から運営者を決めた場合、運営の際に使いつらいものになることもある中で、先進事例では一体的に提案して整備した方が運営者の意向が反映され、スムーズにオープンし効率的な運営ができています。したがって、PFI事業等審査委員会で選定していただいた運営者を非公募で指定管理者として選定していただくものです。

委員長 民間のノウハウを活用するため、運営まで含めて広く公募すると言っているのに、非公募という言葉がでてくるのは一般的には矛盾して聞こえるのでは。

事務局 市民に誤解を招かないように説明していきたい。

(4) その他

特になし

【閉 会】